

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	青葉総合高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・単位制総合学科 クリエイティブスクール
-----	----------	------------------	----------------------------

1 学校のミッション

- 全日制の課程単位制総合学科クリエイティブスクールの高校として、共通教科及び専門教科にわたる多様な科目の中から生徒が主体的に履修したい科目を選択でき、生徒の興味・関心や進路希望等に応じた学習を可能にするという総合学科の特質を生かし、「系列」に応じた系統性のある学習を確保することで、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学びに向かう力を育むとともに、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- 社会の一員として自己の未来を創造することができる人材の育成をめざし、学び直しを通じてわかることが実感できる学びを提供し、一人ひとりの進路希望の実現に向けた指導ときめ細かな支援に取り組む。
- 生徒一人ひとりが主体的に進路を開拓することができるよう、学び直しを含めた生徒の基礎的・基本的な知識・技能の習得と、新たな可能性との出会いをめざした学習機会の確保など、教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

- 生徒の個性を踏まえたきめ細やかな支援によって、自己有用感や自己肯定感を醸成するとともに、社会的・職業的に自立することができる生徒を育てる。
- 多様性を認め他者を大切に思いやりの心と、共に手を携えて生きていくために必要なコミュニケーション能力を備えた生徒を育てる。
- 体験的・実践的な活動をとおして、生徒一人ひとりの能力を発揮させることによって「わかる楽しさ」や「できる喜び」を実感し、主体的に学びに向かう態度と基礎学力を持った生徒を育てる。
- 地域との連携をとおしてコミュニティーの一員である自覚を持ち、将来職業的に自立し、社会に積極的に寄与する人間性や社会性を備えた生徒を育てる。

3 計画策定時点での課題

- 基礎学力の定着と個別最適な学び・協働的な学びの両立が不十分であり、授業改善や指導と評価の一体化の更なる推進が必要である。
- 生徒指導・支援において、早期把握・早期対応の体制や教職員間の情報共有、外部機関との連携における一層の組織化が求められる。
- 進路指導において、探究活動とキャリア教育の接続や、個別最適な進路支援の体系化が課題である。
- 地域・企業・大学等との連携や地域貢献活動は行われているが、教育活動との一体化や発信力の強化に課題がある。
- 学校運営において、業務の効率化と働き方改革の推進、並びに不祥事防止を含むリスクマネジメントの一層の強化が求められる。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<p>①基礎学力の育成を軸に社会的自立をめざしてガイダンス科目等の工夫・改善に取り組むとともに、個別最適な学びと協働的・探究的な学びの実現に向けた授業改善を進める。</p> <p>②インクルーシブな学校づくりを推進するため、学校行事等を通し、生徒の自己有用感を醸成するとともに共生社会の一員として主体的に行動できる生徒を育てる。</p>	<p>①電子黒板やICTを活用した授業改善と小テスト振り返りの反復により、基礎学力の確実な定着と個別最適・協働的な学びを推進する。</p> <p>②指導と評価の一体化を図り、探究活動や学校行事の充実を通じて、生徒の主体性・協働性を育成し学びの質を高める。</p>
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>①学び直しの観点から3年後に社会に出て活躍できる生徒の育成を目指し、生徒が自らを律する力を高める。また、一人ひとりの生徒理解に努め、専門職や他機関と連携した支援を組織的に進める。</p> <p>②部活動や生徒会活動等における充実化を図り、生徒の主体的・自発的な活動に向けた支援を継続的に進める。</p>	<p>①年次・グループで情報共有を徹底し、面談や日常の観察を通じた早期把握・早期対応により、生徒の安全・安心な学校生活を支える。</p> <p>②保護者・外部機関と連携した支援体制を構築し、部活動や生徒会活動の充実を通じて、生徒の主体性と自己管理能力を育成する。</p>
3	進路指導・支援	<p>①生徒一人ひとりが持つ可能性を広げるため、希望や適性を把握し、3年間を通じた探究的な活動を通じてSCCや外部機関と連携した組織的かつ継続的な進路指導・支援の充実を図る。</p>	<p>①総合的な探究の時間や進路行事を体系化し、キャリア支援センターを中核に外部機関と連携するとともに、面談・データ共有を通じた個別最適な支援を充実させ、生徒の主体的な進路選択を促進する。</p>
4	地域等との協働	<p>①地域の豊富な社会資源との連携を深め、地域から信頼される学校づくりを進めるとともに、生徒による主体的な地域貢献活動及び地域への積極的な広報活動の充実を図る。</p>	<p>①地域・企業・NPO等との連携を強化し、社会資源を活用した探究・地域貢献活動を推進するとともに、教育活動の発信を通じて地域との双方向の関係を構築し、持続的な協働体制を確立する。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①将来にわたって、社会的な役割と責任を果たすことができる「持続可能な学校」づくりに取り組む。</p> <p>②不祥事・事故防止の徹底を図る。</p>	<p>①ICTの活用による業務の効率化とグループ間の連携強化を図り、教職員が生徒と向き合う時間を確保するとともに、組織的で持続可能な学校運営を推進する。</p> <p>②不祥事防止研修や情報共有の徹底により、リスクマネジメントを強化し、安全・安心な教育環境の維持と教職員の服務規律の確保を図る。</p>